

件名：丘珠空港救難照明車庫その他解体工事

令和8年1月19日  
東空建第 188 号

質問番号	図面番号	質 疑	回 答
1		現場説明書のP.11に六価クロム溶出試験が記載されており、本工事において地盤改良を施工しますが、積算数量表に六価クロム溶出試験の項目がありません。溶出試験は必要なのでしょうか。	現場説明書P.11に記載のとおり、地盤改良でセメント及びセメント系固化材を使用する場合は六価クロム溶出試験が必要となります。現時点では、試験費は計上しておりません。 現場で使用する地盤改良材を踏まえ、必要に応じて、契約後に協議することとします。
2	K02	車止めA×10基及び車止めB×12基の撤去経費が数量表に記載されていませんが、追記してもよろしいでしょうか。	車止めA×10基及び車止めB×12基の撤去経費は、入札公告時に配付しております入札時積算数量書P.27 建築工事 細目別内訳の「B.外構撤去工事 救難照明車庫廻り 1. 撤去」に記載しております。
3	K13	地盤改良及び敷鉄板施工範囲に山留施工位置の図面上左側も含まれていますが、地盤改良及び敷鉄板の施工は必要なのでしょうか。	地盤改良及び敷鉄板の施工は、杭引抜時に重機が転倒しないようにするためのものであり、重機の設置範囲を考慮したときに山留施工位置の図面上左側まで地盤改良・敷鉄板の施工が必要と考えておりますが、必要に応じて、契約後に協議することとします。
4	K08	杭撤去後は流動化処理土によりGL-520まで埋め戻しとあるが配合についてご教示願います。	流動化処理土の配合については、セメント系の固化材を使用し、以下の仕様を満たすような配合を計画してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・比重: 1.8以下</li> <li>・フロー値: 180mm以上300mm以下</li> <li>・ブリージング率: 1%未満</li> <li>・設計基準強度: 130~550kN/m<sup>2</sup></li> </ul>
5	K13	救難照明車庫の釜場湧水は施工範囲内にある排水樹(残置)に放流可能ですか。	釜場湧水の排水先については、工事契約後に関係官署と協議した上で決定することとします。

6	K02	<p>白線引き撤去が、設計図では92.55mと記載されていますが、数量表(P.27)では74.6mと記載されています。設計図の寸法では92.6mとなりますが、どちらが正しいのでしょうか。</p>	<p>白線引き撤去の数量については、設計図に記載の92.55mには舗装撤去により必然的に撤去できる白線引きの数量も含まれておりますので、入札時積算数量書に記載の数量を正として考えていただきたいですが、契約後に現場確認の上、協議することとします。</p>
7		<p>数量表(P.30)の発生土数量が13.6m<sup>3</sup>と記載されていますが、すきとり数量(別紙明細P.6)は96.5m<sup>3</sup>と記載されています。下層路盤の数量に深さ0.6mを掛けると、96.6m<sup>3</sup>となりますが、どちらが正しいのでしょうか。</p>	<p>すきとりの数量は入札時積算数量書別紙明細P.6のとおり96.5m<sup>3</sup>が正であり、設計図K15に記載のとおり「撤去後の土は、救難照明車庫の地盤改良に利用すること」としておりますので、地盤改良用として82.9m<sup>3</sup>の土を利用することで考えております。 そのため、96.5m<sup>3</sup>から別紙明細P.3の盛土(B種)の数量82.9m<sup>3</sup>を差し引きると発生土の数量は13.6m<sup>3</sup>となりますので、入札時積算数量書に記載の数量は正となります。</p>